

心を込めて
「おいしくなーれ！」



相和幼稚園にて



大井町 議会だより

- 第4回定例会 P 2
条例案や補正予算案を可決
一般質問 ここが聞きたい P 6
9人が町政を問う！
委員会活動報告 P11
活動方針を決定

- 町のこの人あの人 P12
クラシック音楽を聴いてみませんか
河原地区
三武 好道 さん

E-mail gikai@town.oi.kanagawa.jp

URL <https://town.oi.kanagawa.jp/site/gikai/>

この広報は、再生紙を使用しています。

第4回定例会

*任期満了により、後任の選出をするもの	松田町外三ヶ町組合議会議員の選出について（賛成全員）	藤澤一郎 氏 (新任 金手)	大井町副町長の選任について同意を求めること（賛成6・反対6）	【議長採決により同意】
*任期満了により、後任の選出をするもの	（新任 金手）	（新任 金手）	（新任 金手）	（新任 金手）
*任期満了により、後任の選出をするもの	（新任 金手）	（新任 金手）	（新任 金手）	（新任 金手）
*任期満了により、後任の選出をするもの	（新任 金手）	（新任 金手）	（新任 金手）	（新任 金手）



教育福祉常任委員会による審査

陳情第1号「選択的夫婦別姓制度の法制化を求める意見書を国に提出することを要望する陳情書」は採択すべきと決定

主な質疑

- 問 ジェンダー平等な社会を築くためには、他にも課題があるのではないか。
- 答 様々な課題は認識しているが、早急に解決すべき課題として、本制度の導入が求められる。
- 問 現状では、どのようなキャリアへの影響があるのか。
- 答 研究論文をはじめ、戸籍名に限られる場面があり、改姓に伴い業績が断絶されることがある。
- 問 選択的夫婦別姓制度を導入した場合の課題は。
- 答 子どもの苗字の取り扱いが大きな問題であると感じている。
- 問 選択的夫婦別姓制度を導入することで、社会生活が大きな転換を迎えると思うが見解は。
- 答 婚姻にあたり約95%の女性が改姓を強いられている。影響の大きさも理解できるが、別姓を希望した方の意思を尊重すべきと考える。

議案第71号「大井町生涯学習センター条例の一部を改正する条例について」及び議案第72号「大井町立そうわ会館条例の一部を改正する条例について」は可決すべきと決定

主な質疑

- 問 値上げによって稼働率が低下すると予想されるが対策は。
- 答 駐車場が完備されていることなど施設のメリットを活かした運用に努める。
- 問 生涯学習センターの今後の稼働率の目標は。
- 答 50%を目指している。
- 問 値上げの前に、維持管理費の削減努力をすべきではないか。
- 答 維持管理費は人件費や委託料などであり、削減は難しい。サービスを維持するための措置である。
- 問 そうわ会館では、過去の推移から施設の稼働率が低下しているが、その要因と対策は。
- 答 夜間の利用が減少しているためであり、今後の課題である。
- 問 令和7年6月から改定する理由は。
- 答 使用料の改定であるため、十分な周知期間を設けるべきと考えた。

第4回定例会・第4回臨時会

議員討論

反対討論

重田 有紀

値上げの前に稼働率upの施策を

今回の改正は、維持管理費増を理由に長年据え置かれていた使用料を40%～50%割値上げするものである。このような大幅値上げで最も懸念するのは町民活動の衰退である。協働のまちづくりを掲げながら、事前に町民から意見聴取をする等の機会さえ設けられていない。値上げが避けられないとしても、施設整備や利用ルールの緩和等、町民に納得してもらえるだけの案が同時に示されるべきである。値上げをしても歳出に占める歳入の割合は僅か17.24%、増額分214万円程度と維持管理費を補填するには十分とは言えない。稼働率も目標の50%に程遠い現状を見ても、値上げの前にできることは他にあったはずである。町民に直接的な負担を強いる際は、その心情に寄り添った提案の仕方を期待し反対討論とする。

賛成討論

鈴木 磯美

社会経済情勢及び受益者負担の観点から、値上げはやむなし

生涯学習センターにおいては開設から36年が経過し、施設の老朽化に伴う改修工事及び設備機器の更新等にかかる費用は年々増加し、令和5年度の施設維持管理費は約4300万円にまで増加している。使用料が40%～50%増額と数字のみを聞くと大幅な値上げに聞こえるが、今後も施設の老朽化が進み、改修工事や修繕、設備機器の更新等が見込まれ、町の負担がさらに増えるものと推察され、妥当な算出と理解する。公共施設は営利目的ではないことは十分理解するが、現在の社会経済の情勢や利用する人の受益者負担の考え方や公平性を考えると値上げもやむなしと考える。

利用稼働率を上げるための更なる努力や減免要綱も必要に応じ見直すなど、施設の延命に期待し、賛成討論とする。

第4回臨時会

11月18日

を対象に引上げている。

ド保有率74・6%の約

大井町国民健康保険条例の一部を改正する条例（賛成多数）

例（賛成多数）

会議内容	条例3件
専決処分の承認	1件

*被保険者証が廃止されることに伴い、罰則規定を改正するもの

条例

大井町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（賛成全員）

罰則条項の改正であるが、今まで適用されたケースはあるが、今まで適用されなかったケースはあるか。保険税滞納者が保険証を返還しなかつたケースを含めて、罰則を適用した例はない。

一般会計補正予算（第8号）（賛成全員）

専決処分の承認

マイナンバー化の紐づけをしていないと

のことだが、登録はどう進めるのか。

大型店舗への出張登録サービスや広報等で周知していく。

問 官民格差があるのか。
答 11183円（2.76%）のことだが、全体的に引き上がらないのか。

問 採用市場での競争力向上のため、初任給を大幅に引上げ、かつ、若年層に特に重点をおきつつ、すべての職員

答 採用市場での競争力向上のため、初任給を大幅に引上げ、かつ、若年層に特に重点をおきつつ、すべての職員

職員の給与を改定するもの

問 格認書の発行にかかるのか。
答 マイナ保険証を使用しない方は、現在発行している紙の保険証を使用していただくが、令和7年7月末日で切れるため、8月以降は

投票所借上料は、1か所7000円とのことだが、毎回、自治会と調整しているのか。

答 ここ数年変えていないが、借上料のあり方については今後検討していきたい。

審議議案と結果

審議した議案と審議結果

○は賛成 ×は反対 欠は欠席
伊藤奈穂子議長は、採決に加わりません。

令和6年11月7日に南足柄市議会・足柄上郡町村議会合同研修会にて伊豆市伊豆の国市廃棄物処理施設「クリーンセンターいづ」の施設の視察を行いました。82トン／日の処理能力を持つとのことです。処理方式はストレーカ式焼却方式で、能力算定には2市の可燃ごみ量及び可燃災害廃棄物の年間量から割り出したそうです。ごみ処理施設の広域化を目指して2市7町1村で協議会を設立しましたが、市町の脱会、負担金割合、候補地、ごみ分別方法の違いなどを理由に解散したそうです。その後、伊豆市と、伊豆の国市で組合設立準備会の



直後、廃棄物処理設組合を設立し共に処理に至つたとのことです。施設候補は検討を進めたが意に至らず、「広島一般廃棄物処理施設のあり方市民検討会」にて施設のありについて検討し、暮期間を経て伊豆佐野区に決定されした。この事例からも住民と一緒に検討して計画していくことが早期の建設につかると感じました。

1市5町合同研修会報告

くろいわじん た ろう
黒岩陣太郎 議員

Q

上大井駅舎の今後の展望は

A 利活用について
詳細に検討する上大井駅舎
利活用が検討されている

町長 関係各課で詳細用は。 今後の駅舎の利活
その工事内容は現在の
駅舎とトイレを取り壊
し、バスの停留所のよ
うな簡易駅舎にすると
いう提案で、町側の意
見を聞きたいと申し出
があった。町として検
討した結果、通勤通学
のための利用やハイカ
ーにとってトイレがな
いのは死活問題となる
との意見や、歴史等を
鑑みると町の玄関口で
ある駅舎を保存しなが
ら利活用できないかな

問 J.R東海との現在の協議状況は。
町長 令和4年8月にJR東海静岡支社より駅舎の老朽化により建て替え工事を検討して旨の報告があつた。

問 今後の駅舎の利活用は。 どの意見が多かつた。
町長 関係各課で詳
細用は。 な検討を開始し、今後、
まず耐震診断を実施し、町民や来訪者のニーズ
補強にかかる費用を算
を捉えながら有意義で
出して判断したい旨を
JR東海に伝え、了承
された。

問 移住・定住促進と関
係人口の創出について
町長 ノマドワーカーを
誘致する考えは。
大、ワークーションの拡
大、ワークーションの
活用などの働き方の選
択肢も拡大しているこ
とから、田舎暮らしを
満喫しながら都心部へ
のアクセスのよい町と
して、移住先に選ばれ
るようPRを進めてい
きたい。

問 2016年に改定したおおい都市マスター
ープランは2036年を想定した計画であり、
12年後の姿と考えるが。 な検討を開始し、今後、
まず耐震診断を実施し、町民や来訪者のニーズ
補強にかかる費用を算
を捉えながら有意義で
出して判断したい旨を
JR東海に伝え、了承
された。

問 2016年に改定したおおい都市マスター
ープランは2036年を想定した計画であり、
12年後の姿と考えるが。 な検討を開始し、今後、
まず耐震診断を実施し、町民や来訪者のニーズ
補強にかかる費用を算
を捉えながら有意義で
出して判断したい旨を
JR東海に伝え、了承
された。

</div

大井町**認知症ガイドブック**

～認知症と共に暮らすための道しるべ～

令和6年7月1日発行

町で配付している
認知症ガイドブック

地域包括ケアの推進体制強化に向けた取り組みとして介護フエア事業の充実に努めている。

地域包括ケアの推進体制強化に向けた取り組みとして介護フエア事業の充実に努めている。

農ある暮らしの推進により入居が決まった空き家



移住定住に向けた方針は。
地域の取組みを活用した移住定住促進についても検討している。

移住定住に向けた方針は。
地域の取組みを活用した移住定住促進についても検討している。

高齢者の関係する事故の発生率は高く、高齢者交通事故多発地域に指定された。交通安全意識の普及啓発活動や交通安全施設の整備を進めている。

高齢者に自転車用ヘルメット購入補助を行なう考えは。

高齢者の関係する事故の発生率は高く、高齢者交通事故多発地域に指定された。交通安全意識の普及啓発活動や交通安全施設の整備を進めている。

高齢者に自転車用ヘルメット購入補助を行なう考えは。

【問】 認知症高齢者家族支援の現状と課題は。

【町長】 町では認知症カ フエ、認知症家族のつどいを開催しており、認知症になつても安心して暮らせる社会づくりの啓発とく。

【問】 介護人材確保に向けた取組みは。

【町長】 介護の仕事の魅力を発信し、介護職員の普及啓発に向けた取組みとして介護フエア事業の充実に努めている。

【問】 防災対策について

【町長】 「自分たちの町は自分たちで守る」という意識で防災対策に努めるることは重要であり、町では自主防災組織リーダー研修会や防災講演会を開催している。引き続き多くの方に研修会に参加して頂き、地域防災力の底上げを図っていく。

【問】 認知症高齢者家族組みは。

【町長】 関係団体や地域の方、専門職とともに、医療、介護、生活支援、関係機関と情報交換を介護予防の推進に取り組んでいる。

【問】 移住定住に向けた方針は。

【町長】 広域での取組みの相乗効果で増加につなげていく。空き家を活用した移住定住促進についても検討している。

【町長】 高齢者の関係する事故の発生率は高く、高齢者交通事故多発地域に指定された。交通

【町長】 4年ぶりに再開されてから2年間不参加となっている。令和7年度は中止が決定している。その後の開催

【町長】 現時点では実施する予定はない。

【町長】 現時点では実施する予定はない。

【町長】 把握と情報収集に努め、関係課と情報



やまざき まさひろ 真弘 議員

A

地域全体で認知症本人や家族を支援していく

Q

認知症高齢者家族支援は

A

荷物の整理や改修等への補助の検討を進めている

Q

空き家の所有者又は利用者に対する改修費補助の考えは

【鈴木磯美議員】

A

荷物の整理や改修等への補助の検討を進めている

おおいし
大石舞議員

Q

インクルーシブ教育の本町での成果は

A ユニバーサルデザインの授業づくりや校内教育支援センターを設置している



インクルーシブ教育推進、子どもたちの人権尊重を

- 問 インクルーシブ教育の取組みの課題は。
- 教育長** 通常級の担任を含めた教職員の研修が必要。常に通常学級をホームとして考え、つながりを意識した学びの場の選択ができるようにしたい。
- 問 就学先の決定について、人権モデルに即した見直しが必要では。子ども自身の意見を反映させた就学先決定のシステムについて、現状と今後の対応は。
- 教育長** 保護者と就学相談をする中で、子どもの思いも聞くようになっている。
- 問 教育委員会の中で、要があると考えるが。本町でのインクルーシ

ク
問 インクルーシブ教育の取組みの課題は。

教育長 通常級の担任を含めた教職員の研修が必要。常に通常学級をホームとして考え、つながりを意識した学びの場の選択ができるようにしたい。

問 就学先の決定について、人権モデルに即した見直しが必要では。子ども自身の意見を反映させた就学先決定のシステムについて、現状と今後の対応は。

教育長 保護者と就学相談をする中で、子どもの思いも聞くようになっている。

問 保育所等訪問支援について、他課と連携し積極的に周知する必

いてどのような議論をしてきたのか。

教育長 具体的な議論にまで至っていないが、今まで至っていないが、

問 今後協議する必要があると認識している。

問 補助金の導入は。

課長 導入している市町村の現状や課題を調査し、近隣市町の動向を踏まえ検討する。

問 福祉課と生活環境課が情報共有し、課題や仕組みづくりについて研究していく。

問 社協の生活応援隊のごみ出し利用者が年々増加傾向にあるが、町の見解は。

問 アンケートを行い、課題があることは認識している。

問 環境省による特別交付税措置を利用することを考える。

課長 行っていないのは1市5町で、大井町と山北町だけである。町の考えは。

町長 福祉課と生活環境課が情報共有し、課題や仕組みづくりについて研究していく。

町長 現在、後期高齢者の健康診査の委託費の金額は。

問 現在、後期高齢者の健康診査の委託費の金額は。

問 現在の特定健康診査もデータ管理ができ、訪問の際、参考できる。

課長 38000円強を町から医療機関に支払っている。

問 金額だけ見れば、町に負担はかからないと思うが見解は。

問 第9期高齢者保健福祉計画のアクティブライフ55は、85歳を元気で迎えて笑顔あふれる高齢者や障がい者に

- 行つていいのは1市5町で、大井町と山北町だけである。町の考えは。
- 町長** しっかりと精査した中で結論は出したい。
- 町長** しつかり精査した中で結論は出したい。
- 課長** 現在の特定健康診査もデータ管理ができる。
- 問 現在は検討していない。
- 問 後期高齢者に対する人間ドック補助金を100歳を目指すとい

A 課題や仕組みづくりを研究する

わだ
和田紀昭議員

Q

ごみ出し支援サービスの対応は



高齢者や障がい者にごみ出し支援を

- 問 高齢者や障がい者のごみ出し支援サービスは今後、行政対応が必要と考えるが。
- 問 今後、障害のある子どもが通常級を希望した場合、状況に応じて介助員や会計年度任用職員は配置されるのか。
- 問 現在、後期高齢者の健康診査の委託費の金額は。
- 問 現在の特定健康診査もデータ管理ができる。
- 問 現在は検討していない。
- 問 後期高齢者に対する人間ドック補助金を100歳を目指すとい

う基本理念がある。これに対して病気の早期発見、早期治療で健康寿命を延ばすのに有効な施策であると考える。

課長 行つていいのは1市5町で、大井町と山北町だけである。町の考えは。

町長 しっかりと精査した中で結論は出したい。

町長 しつかり精査した中で結論は出したい。

課長 現在の特定健康診査もデータ管理ができる。

問 現在は検討していない。

問 後期高齢者に対する人間ドック補助金を100歳を目指すとい



馬場地区の危険箇所

町道18号の金田堰は暗渠になつてない箇所が残つてゐるが、延長工事は行うか。

課長 計画はないが通学路が絡んでいれば点検し、検討の通路に上げていきたい。

町長 道路標識や全体ライン、道幅などで優先する道路を確認できないような交差点では左方の車が優先となる。道交法第36条にも明記されていることであり、基本的にはこのルールを守り、安全確認を行ない見通しが悪い場合は徐行や停止するなど、交通規範意識を持ち歩行者等に十分に注意して運転をしていただきたい。これを前提として

課長 前に引かせてもらつたが、警察の見解では法的に定めたものでなく、それによつて優先と勘違いしてしまうため既に消したところもある。

問 自治会未加入世帯へ広報誌配布等がされていないが、情報提供

町長 行政が運営する際は協働から離れる。児童コミュニティクラブは決して協働の場ではない。

町民と町民活動団体と町の協働事業



課長 不還付は、むやみなキャンセルを防止する目的があるが、利用できなかつた場合は1回限り振替ができるよう対応している。

問 入場料を徴収する際の使用料加算について、物価高騰等の世情を鑑み改定すべきでは。

課長 一定の加算基準

もろほし
諸星
みつひろ
光弘
議員

Q 水路改修計画もあり早急に検討する

問 町道18号の金田堰は暗渠になつてない箇所が残つてゐるが、延長工事は行うか。

課長 計画はないが通学路が絡んでいれば点検し、検討の通路に上げていきたい。

問 【事故多発交差点の対策は】

町長 町道2号線と優先度が同等の道路の交差点には停止線がないため事故が多発している。今後の対応は。

問 停止線ではないが点線塗装がしてある箇所があり事故防止につながつていると思うが、ここに点線を引くことはできないのか。

課長 その点線は数年前に引かせてもらつたが、警察の見解では法

問 全ての事業は協働のまちづくりの指針に基づいて進められるべきと考えているか。

町長 行政でしかできない事業もある。例えば道路建設等は協働の考えでは行つていない。

問 児童コミュニティ

課長 クラブを含め学校も協働の担い手としてガイドラインに位置づけられていることから協働事業だと思うが。

問 広報誌全戸配布は、め町民活動団体に限り活動団体には障壁であり、これを緩和するため、これを緩和するためのあり方を問題視しているか。

課長 自治会加入未加入によらず、情報提供や共有の公平性は重要な事である。

問 生涯学習センターの使用料不還付は町民活動団体には障壁であり、これを緩和するためのあり方を問題視して設のあり方について

しげた
重田
ゆき
有紀
議員

Q 協働のまちづくりは本町の一丁目一番地である

問 町道18号の金田堰は暗渠になつてない箇所が残つてゐるが、延長工事は行うか。

課長 計画はないが通学路が絡んでいれば点検し、検討の通路に上げていきたい。

問 【事故多発交差点の対策は】

町長 町道2号線と優先度が同等の道路の交差点には停止線がないため事故が多発している。今後の対応は。

問 停止線ではないが点線塗装がしてある箇所があり事故防止につながつていると思うが、ここに点線を引くことはできないのか。

課長 その点線は数年前に引かせてもらつたが、警察の見解では法

問 全ての事業は協働のまちづくりの指針に基づいて進められるべきと考えているか。

町長 行政でしかできない事業もある。例えば道路建設等は協働の考えでは行つていない。

問 児童コミュニティ

課長 クラブを含め学校も協働の担い手としてガイドラインに位置づけられていることから協働事業だと思うが。

問 広報誌全戸配布は、め町民活動団体に限り活動団体には障壁であり、これを緩和するためのあり方を問題視して設のあり方について

町のこの人 あの人

クラシック音楽を聴いてみませんか



河原地区
三武 好道 さん

ピアニストの伴奏で独奏し、モーツアルトやハイドンの弦楽四重奏やホルン五重奏を演奏しました。演奏者のトーケも楽しみのひとつです。

●「大井町でクラシック音楽を聞く会」の代表として活動されていれる河原在住の三武好道さんを紹介します。

●三武さんは横浜市出身。ご家族の仕事の関係で大井町に住み始めています。約50年になります。

●仕事先が横浜であつたこともあり、あまり地域との関わりが少なかつたそうです。現役を引退し地域のために自分に何かできることがないかを考え、若い時からクラシック音楽に親しんでいたことや友人にNHK交響楽団のチエロ奏者がおり、

●N響メンバーは、楽器奏者が4人、金管樂器奏者が1人加わり5人のメンバーで演奏し、地元第2回演奏会では、

大井町で演奏会を開催する趣旨に賛同し、ご快諾を得ました。自治会活動を通して知り合った役員さんやピアノの先生たちに呼びかけて「大井町でクラシックを聞く会」を立ち上げたそうです。

●今までに生涯学習センターホールにて3回のN響メンバーによる演奏会を開催し、いずれもチケットが完売。大変盛況でした。

●今までも開催予定ですが、も開催予定です。次回も開催予定です。楽しみにお待ちください。」と笑顔でおっしゃっていました。



N響メンバーによる演奏

お詫び

議会だより第221号(P4)に掲載した写真に誤りがありました。キャプションには、「おーい！元気会」とありますが、掲載した写真は、河原のおしゃべり会の様子となります。ご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

議会だよりへの意見募集

より分かりやすい広報誌とするため、町民の皆様の声を募集します。応募は、電子メール(gikai@town.oi.kanagawa.jp)、郵送、持参、FAXのいずれかでお願いします。様式は任意で結構です。

**町政を知る良い機会です
議会傍聴にお越しください！**

第1回定例会開催
3月4日(火)午前9時
問合せ先：議会事務局
☎85-5000 FAX 83-3936

編集後記

広報広聴常任委員会 (広報分科会)	
委員長	鈴木 順
副委員長	大石 磯美
委員	山崎 真弘
委員	笠井 有太
委員	田中 紀昭
委員	田中 幸二
委員	岡田 舞
委員	山崎 真弘
委員	田中 幸二
委員	岡田 舞
委員	山崎 真弘
委員	田中 幸二
委員	岡田 舞
委員	山崎 真弘
委員	田中 幸二
委員	岡田 舞

本年は乙巳年、乙巳(きのとみ)と言われ60年に一度の特別な年に当たり、新たな成長や変化が期待される夕イミングと言われています。議会でも町民の皆様により身近に感じて頂けるよう、改革に取り組んで参ります。第4回定例会では、町政全般に対して、活発な議論が交わされましたが、この様子を伝えます。今後とも、町政に鋭意取り組んでおられます。この様子を伝える広報分科会の委員も新体制となり、編集作業に鋭意取り組んでおります。今後とも、町民の皆様に正確で分かりやすい広報誌となるよう、努めて参ります。